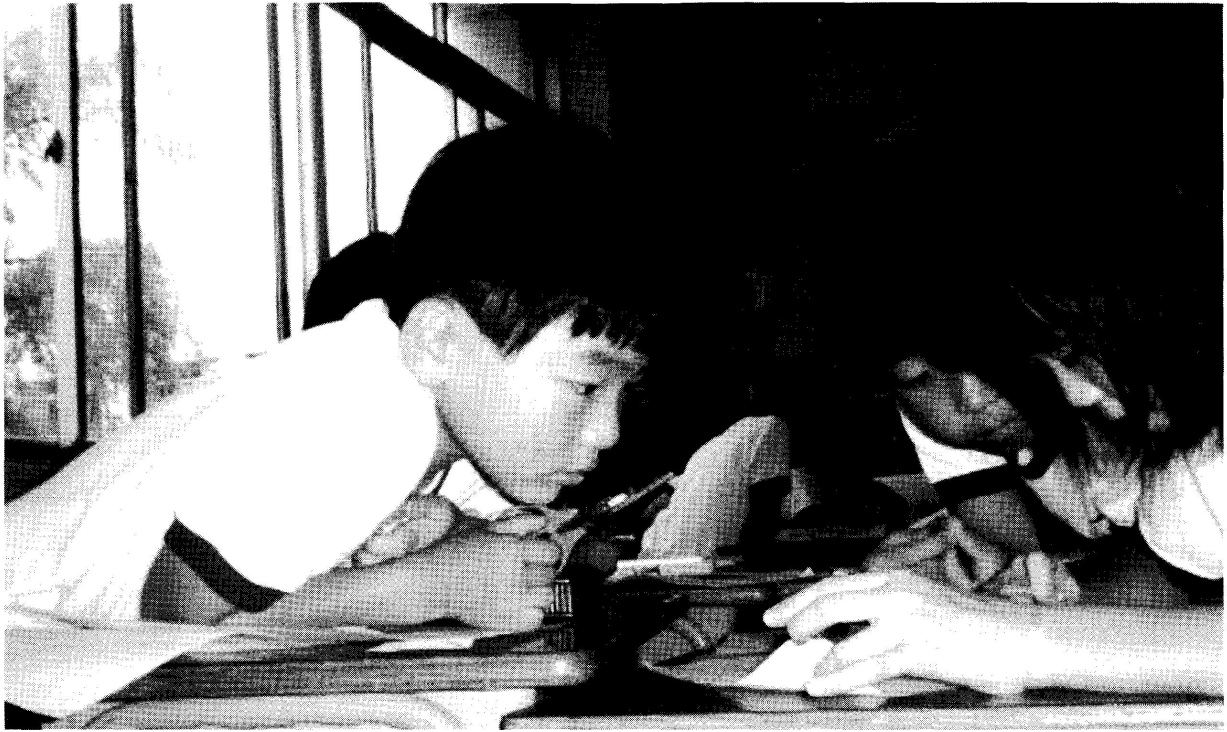


# 国語科の研究

山崎 勝之



## キーワード

対話的活動      伝え合う力      人間関係

## 主張

望ましい人間関係を作り、継続していくためには、相手の立場や考えを尊重する通じ合いを求める新たな価値観を形成する学びが大切である。その具現のために、通じ合いを求める意欲・態度と適切な述べ方や構成を選択する力に着目した。

子どもは、意味マップや下書きなどを用いて仲間と互いの表現の論理（内容的整合）や構造（適切な構成、述べ方）についてよさや不十分さを相互評価する対話的活動により、自分の表し方が不十分であると自覚したとき、通じ合いへの意欲を高め、より質の高い表現を求める。表現の選択肢を増やすアドバイス（助言）やメディエーション（調停）する対話的活動により、選択肢の中から一貫性や妥当性の高い論理や構造に絞り込むことで、相手や場面に応じた分かりやすく筋道の通った発言や文章を組み立てる力が高まっていくことを明らかにした。